

でらいとわーく TIMES Vol.13

◆発行◆ (2017年6月刊行)

就労移行支援事業所 でらいとわーく 相談支援事業所 でらいとさぼーと
〒144-0052 東京都大田区蒲田5-30-15 第20下川ビル4F
TEL : 03-6428-6744 Fax : 020-4669-0261
URL: <http://jiritsu-shien.org/about.html>
facebookpage: www.facebook.com/delightwork

facebookも
やっています！



新メンバーが入りました！

梅雨に入り、じめじめとした日が続いていますね。そんな中でらいとわーくでは、さわやかな新メンバーを迎えました。その中から代表して利用者の方から2名、そして新しい職員1名にこれからの抱負を語っていただきましたのぜひご覧ください！

私が初めてでらいとわーくに会ったのは、三月のある日の事でした。色々な人達の繋がりと協力があり、この場所へ辿り着いたのです。恐る恐る扉の前に立つと、「こんにちは！」と皆さんの大きな声が次々と飛び交い、私を迎えてくれたのです。正直、ビックリしたのですが、温かさを感じたのを覚えています。スタッフの方々とお話をしながら、皆さんを感じていました。緊張していたので、スタッフの方々とのお話はハッキリとは覚えていないのですが、言葉では表せない初めて感じる雰囲気でした。

家に帰り、また淡々とした日々を送っていると電話が鳴りました。でらいとわーくさんからです、チョッパリ緊張。そこから今の日々がスタートしたのです。最初は月火水の午後だけからのスタートでした。しかし気がつけば、二月ほどで朝からほぼ通所している私、ビックリです！理由は語るまでもなく、皆さんの温かさ、優しさです。朝が苦手だった私ですが、頑張ってきたら一日過ごせた、そんな毎日を積み重ねて今日があり、こうして振り返る今があります。私には何が足りないのか、「社会へ飛び出す自信」です。それが欲しくて今日もこうして此処にいます。もっと集中力も欲しい、パソコンを学びたい、礼儀作法、社会性、身に付けたい事だらけです。そんな私に、焦らないでやっていこうとってくださいスタッフさん。通っていく中で色々な選択肢が広がって少し混乱する時もありますが、これは良い迷いだと信じています。近い将来に此処を卒業するときは、胸を張って巣立てる自分に必ずなる！この一言が私の抱負であり、支えて下さった全ての方々への恩返しです。(Hさん)



Hさんはとても明るく話し上手な方で、いつも場の雰囲気をよくしてくださいます！右上のページには、楽器の音色を聞き分けることができるすごいスキルを持ったSさんの抱負と、5月からでらいとわーくで働き始めた職員の下岡さんにもお話を伺いましたのでぜひご覧ください★

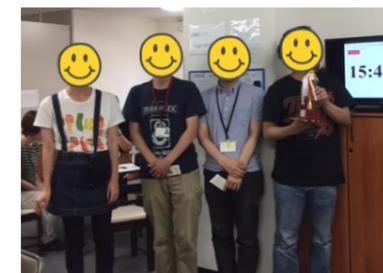
ご縁があって、でらいとわーくのメンバーになりました。トライアル期間を週一回のペースで通っていましたが、皆さんの名前と顔がなかなか覚えられないです。また、自分の顔と名前を知ってもらうのも大変だったと思います。6月13日から週三回ペースで通うことになりました。6月14日では、初顔合わせのスタッフとメンバーの方にお会いできました。これからは週三回で通うので、少しでも早く皆さんの名前を覚えたいと思います。私は不慣れな内はドジやおちょこちよいいな事をしますが、何卒宜しくお願い致します。皆さん親切な方が多くて助かっています。6月13日はでらいとわーく後に、Yさんのお誘いあってバッティングセンターに行ってちょい親睦を深めました。高速120kmに挑戦しました。ファールチップが多かったですが、三塁線を破る痛烈な当たりが二本でて、気持ち良かったです。又機会が会ったら是非参加したいと思います。でらいとわーくを通じてまだお会いした事のない人とお会いできる日を楽しみにしています。ちょっと寝不足気味の日々がつづいてます。就労に繋がるように一日一日を大切にしていきたいです。(Sさん)

就労支援員・下岡さんより

5月より就労支援員として入社しました下岡と申します。昨年よりキャリアデザインについて学んでまいりました。自分自身も過去に仕事に対して悩んでいた経験から、今現在、仕事のこと悩んでいる方や、迷っている方を支援したいと思っています。よろしくお願ひいたします。

第4回 吉田杯開催

今回の吉田杯(プレゼン大会)はチーム戦で、テーマは「改善」。でらいとわーくで過ごしていて「不便だな」、「こうなったらよいのにな」ということをテーマにみなさんに考えていただき、発表していただきました。優勝は「**チーム哲学**」。いくつか改善案があるうちで、一番注目されたのは、より仕事を意識した公文プログラムにするための「大人の公文」を発案されました。今は3教科を30分ずつに区切って各教科に取り組んでいます。10:00~12:00までの時間の中で、休憩を自主的に取りながらそれぞれの教科に取り組むという大胆な発想でした。みごと優勝したチーム哲学の方にプログラムインタビューとしてお話をうかがいました。



チームワーク抜群のチーム哲学のみなさん。発表中も大変盛り上がりました！

連載 第3回 プログラムインタビュー

今回は、この度、吉田杯にて優勝させて頂きました。打ち合わせでは様々な意見が出ました。その中でチーム哲学では、工程時間の短縮と後のプレゼン資料作成を考慮し議事録をパソコンにて作成いたしました。チームで何度も読み合わせし、チーム全員が同一の認識を持つことから始めました。資料作成の工程時間等はどのくらい時間が必要かも読まず、残って打ち合わせ時間が多かったです。また、チーム全員が揃う日も限られていた為、写真や表などを熟考する時間が確保出来なかったのが課題です。このあたりの反省活かし、次回は限られた時間で品質の高い資料作成が出来ればより業務に近いプレゼンテーションが出来る事でしょう。(Sさん)

チームの仲間の3人のおかげで優勝出来ました。Sさん、Aさん、Kさん、この場を借りて改めて感謝の意を表します。本当にありがとうございました。「改善」とは何か？ということを相談し、それぞれが素晴らしい考え方を沢山持っていて、それを1つにまとめるのがとても面白かったです。このスライドを作るにあたって一番力を入れたのが「対比」でした。現状と改善後を1つのスライドでどう表すか？どうインパクトを残すか？ということを考え、レイアウトの「比較」を用いて、改善後の文章をアニメーションで表示する事で、その対比のインパクトを残しました。狙い通り、そのインパクトはうまくいったと思います。チームワークもよく、本当にいいチームでした。(Yさん)

ミュージカル

オペラ座の怪人

ファントム・オブ・ジ・オペラ



まだ4月の肌寒さが残る中、神奈川芸術劇場まで足を運び、劇団四季の「オペラ座の怪人」を観に行きました。パイオルガンの荘厳な音色とともにスタートしたミュージカルはまるでパリのオペラ座にいるかのごとく、わたしたちはその世界へと誘われ、圧倒され続けた約3時間の観劇でありました。観に行った利用者の方々の感想を掲載します。

4月21日はミュージカルの「オペラ座の怪人」を観に行きました。最初、「オペラ座の怪人」というミュージカルがあることは知っていましたが、ストーリーは全く知らなかったの、ストーリーをつかむため真剣に観ました。前回、「アラジン」を観たことで、ミュージカルに関してはどんなものかわかっているつもりでしたが、今回のミュージカルとして有名な「オペラ座の怪人」は普通にしゃべるセリフはほとんどなく、歌と踊りがいっぱい詰まった劇でした。(Sさん)

でらいとわーくでのプログラムの中で過去、劇団四季のミュージカルを2回ほど鑑賞しました。私にとっては、とても、新鮮で楽しい観賞でした。このオペラ座の怪人は、少し大人向けの恋愛内容だと感じました (Mさん)



劇場の3階の座席で観劇した。オペラ座の怪人に注目して観賞したが、内容がすこし難しかった。オペラ座の怪人ということで、オペラ劇場での出来事が中心であった。予約席が確保されており、天井に映る映像が不気味だった。天井からシャンデリアが落下してきたところは迫力があつた。(Hさん)

大まかなストーリーはもちろんわかったのですが、細かい登場人物や設定などを理解するのが少し難しかったです。でも、要所要所で「オペラ座の怪人」といえば有名な音楽というか効果音が流れると、身体中に響き渡りとても印象的でした。(Mさん)

企業見学

NHK

NIPPON HOSO KYOKAI



日々のニュース、緊急ニュースから朝ドラ、大河ドラマ、国民的番組である紅白歌合戦まで我々の生活にとって欠かすことのできない放送局の一つであるNHK放送センターに5月24日、職員含め23人の参加者を得て出かけました。日ごろ見られない放送局の裏側をじっくり見学することができ大変充実した見学となりました。

渋谷にあるNHKに企業見学に行きました。天気も良く街歩きにも良い日でした。新しい8K・TVに迎えられスタジオパークに入場しました。8K・TVは画面が凄く綺麗で流石最新の技術だと思いました。色々なNHKの番組の歴史を写真や映像で見たり、画面のタッチパネルで選択したり出来色々楽しい趣向が凝らしてありました。でらいとわーくの皆で電車に乗り駅から15分ほど歩きそれがすごく新鮮で楽しい思い出になりました。(Sさん)



NHKの人気キャラクターの前で集合写真を撮りました

僕はNHKにはじめて行って学び、楽しむことができました。(Rさん)

5月24日、NHKのスタジオパークの見学をする機会に恵まれた。明治神宮前駅で下車してからNHKに到着するまでに相当歩き、到着までに結構疲れてしまった。しかしながら、その疲れた体がビックリするコンテンツが盛り沢山のスタジオパークだった。まず8Kのスーパーハイビジョンのテレビの映りの凄さに度肝を抜かれた。現在のハイビジョンのテレビの何と16倍という画素数の超高精細映像に映し出されたアイドルグループのパフォーマンスは迫力満点だった。この8Kテレビが普及して我が家にやってくるのが楽しみである。さらに、スタジオパークNEWSではニューススタジオで番組作りを体験したり、クリエイティブラボではオリジナルの動画を作ってみたりと、放送の世界が探検できる体験型のテーマパークであった。また収録している途中の番組の本番をガラス越しに見学することも出来た。また、歴代の大河ドラマのポスターが並んだコーナーは、壮観な眺めだった。(Tさん)

晴れた天気の中、NHKまでの道のりは代々木公園を通ったので、気持ちよい運動にもなったようですね。



ストレス発散！

バッティングセンター行ってきました。

でらいとわーくでは月に1回レクリエーションのプログラムがあります。6月のレクリエーションは、希望者を募って事業所の近くにあるバッティングセンターに行ってきました。参加者のみなさんは次の日筋肉痛に悩まされましたが、よいストレス発散になったようです！

バッティングセンターに行ったのはたぶん15年ぶりくらいでしたが、思っていたより楽しめました。2回やった80kmのソフトボールはわりと打てましたが、1回だけやった100kmのボールは当たっても前にはなかなか飛ばせませんでした。(施設長の)吉さんが上手で、きれいに球が飛んでいました。バッティングの他にピッチングもありましたが、私は球が届かないと思いやりませんでした。ゲームコーナーが併設されているのでゲームも少しやりました。私はワニワニパニックとテトリスをやりました。楽しかったです。(Mさん)

左の麻痺がある為、病気をしてから初めてのバッティングセンターでした。私は、20球300円で1回だけチャレンジしました。全然当てる事が出来ないかと思ったら、半分近く当てる事が出来ました。他の利用者のを見学していると、いつも仲良くしてもらってるKさんがガンガン打っていました。それで、自分はとても気分が良くなりました。Kさんいつもありがとう。(Tさん)



Hさんはすこし高めめのヒールを履きながらバッティングしていらっしゃいましたが、ものともせずどんどん打っていらっしゃいました(写真右)



バッティングを何セットかしたあとにストラックアウトにも挑戦していたSさん。体力のある方です！(写真左)